## 公式記録

## 金渕 佑亮 令和7年度兵庫県高等学校サッカー選手権大会 [ 47 ] 決 勝 2025 13 0.5 キックオー 会 提 三木総合防災公園陸上競技場 日時 缶 11 月 9 (日) 天 候 微風 天然芝 人工芝 • クレ 状 熊 試合形式 延長 良好 80分 20分 PK戦 有 運営責任者 笠原 弘樹 会場主任 石塚 俊 記 芝切 淳 渡邉 悠 観衆 3,321 寺岡 大輔 横田 主 審 余渕 佑亮 副審1 副審2 流夢 第4の審判員 大槻 隼人 前半 チーム名 チーム名 kick off 後半 三田学園高校 神戸弘陵学園高校 2 1 延前 選手番号 矿谷 選手番号 O× 先 PK戦 先 O× 半 シュート シュート ひれ. 番 選 手 名 (学年) 位置 位置 龚 手 名 (学年) 前半 前半 OUT時間 No No OUT時 延後 延前 後半 믇 後半 延前 延後 酒 表咭 2 # GK GK 鹿屋 舷 3 **#** 分 分 北原 亮太 2 DF DF 今井 凛太朗 分 DF 聖 DF 分 谷田 西田 啓人 3 Œ 分 1 3 Œ 3 3 陽ച 分 1\* 太田 春馬 4 DF DE 構川 分 14 分 畑屋 联登 3 Œ DF DF 川崎 絢梧 2 # 分 小林 和暉 3 Æ 5 MF MF 旃原 良弥 3 Æ 1\* 分 分 6 佐伯 太志 3 # NΛΕ NΛΕ 松浦 肝牛 2年 分 分 松下 霪牛 MF MF 18 dkılı 大成 分 分 岡本 知樹 MF FW 池 壱樹 分 70 分 3 Œ 19 3 Œ 1 1\* 77 分 2 村上 龍宏 3 年 9 ΕW FW 給木 竣也 2年 23 分 FW 55 分 ᆂ 凛人 FW 山.戊 瑛太郎 2 # 67 分 悠之介 GK 宮森 司 畑本 1 年 GK *3 4* 分 今井 優太朗 DF 分 2 年 24 DF 4 信宝 --稀 3 Æ 分 9 分 細田 DF 中# 煌十 3 **年** 分 伊井 DF 唯人 分 - 赤 MF 白石 1年 分 2年 21 世中 血 ME 高田 茶太郎 分 2年 22 ME 分 優希 FW FW 外嶋 分 松尾 3 # 8 亮太 分 分 肥田 夢陽 3 ∉ 11 FW FW 9 白石 蒼悟 3 4 分 21 FW FW 高嶋 胡汰郎 分 上山 竜之介 3 Œ 20 16 3 Æ 分 2年 FW 矢野 2 年 水田 FW 警・退 事由 合計 後半 前半 チーム合計 前半 後半 合 計 時間 事由 時間 警・退 延後 延前 延前 延行 氏 ラフ 蒼悟 9 5 4 シュート 5 3 8 75 分 警 9 白石 分 5 4 GΚ 4 3 7 分 1 分 2 CK 2 分 9 直接FK 4 7 6 3 3 分 分 分 Ω 0 0 間接FK 0 Ο 0 分 分 0 PK 0 [警告事由] 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去 [退場事由] 不正・乱暴・つば・阴(手)・阴(他)・侮辱・警2 時間 得点者 スコア [得点経過] 略号例:ドリブル~・ゴロのパス→・浮き球∩・混戦×・ヘディングH・シュートS 三田 太田 0 右FK 10 中央 HS 29 神戸弘陵 梅原 中央 S 分 6 左 11 18 S こぼれ球 6 神戸弘陵 80+4 分 池 2 由中 9 S こぼれ球 11 S 得 分 分 分 経 分 调 分 分 分 分 戦評者 所属/名前 【 芦屋/上野大樹 】 【 兵庫/筒井慎也 】 朝からの雨が降り続くにも関わらず、多くの観客が来場し決勝戦がキックオフ。三田は1-4-4-2、神戸弘陵は1-4-1-4-1の布陣でスタート。立ち上がりは両者ロングボールを使って相手陣内への侵入を試みる。三田はセカンドボールを拾い、相手の守備が整う前に9村上・16北口の背後へ瞬時にボールを入れ流 れを掴むと、11分10佐伯のFKを4太田が押し込み先制点を挙げる。その後も三田が優位に試合を進め、20分にはロングボールに抜け出した9村上が決定機 を創出する。三田は2トップの効果的なプルアウェイで相手CBの背後を脅かし続けた。対する神戸弘陵はセカンドボールを拾った後、幅を使った攻撃を仕掛 を問いる。このはスピックの別表的はブルアウェイで相手のBの目後を目がついけた。対する中で130度はピカブドルールを行った後、幅さ度ブルス学を仕掛けようとするが、なかなかセカンドボールを収められない。23分には競り合いに強い21鈴木から機動力のある9白石蒼に変えて、背後のスペースを取りに行くようにシフトチェンジ。これが功を奏し、弘陵が少しずつ相手陣内で主導権を握る。すると、29分左サイド11池のドリブル突破から最後は6梅原がPA外からミドルシュートを決め、同点に追いつく。後半に入り、風上に立った神戸弘陵はセカンドボールを拾う回数を増加させ、両サイドを展開する。しかし、三田も激しくアップダウンを繰り返し、簡単にゴール前にボールを運ばせない。時間が進むにつれ、互いに堅実なゲーム運びになり、こう着状態が続く。後半終 了間際、交代で入っていた8外嶋が仕掛けた際にこぼれたボールを9白石蒼が拾ってシュート。三田1源が弾くも11池が素早く反応し押し込んで決勝点を挙げ た。高い集中力を維持し続けた神戸弘陵の堅守が光るゲームであった。全国大会でも持ち味を発揮し、兵庫県代表として活躍してくれることを期待する。